

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	(仮称)健軍4丁目マンション	階数	地上7F	
建設地	熊本県熊本市東区健軍4丁目1128-	構造	RC造	
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	0 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	0 時間/年	
建物用途	事務所,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2019年6月3日	
敷地面積	791 m ²	作成者	ふなもと設計 志山	
建築面積	337 m ²	確認日		
延床面積	2,353 m ²	確認者		

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																		
★ ★ ★ ★ ★		BEE = 1.0	■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$																															
100 50 0 0 50 100 環境品質 Q 環境負荷 L S A B⁺ B⁻ C 3.0 1.5 BEE=1.0 0.5 45 45 1.0		■環境効率評価基準																																
		<table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table>	ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—
ランク	ランク表示	評価				判定値																												
			BEE値	Q値																														
S	★★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																														
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																														
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																														
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																														
C	★	劣る	0.5未満	—																														
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能(ランク表示)		排出率	■ライフサイクルCO ₂ 排出性能評価基準																															
☆ ☆ ★ ★ ★		89%	<table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>	判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆																			
判定値(排出率)	ランク表示																																	
30%以下	☆☆☆☆☆																																	
30%超60%以下	☆☆☆☆																																	
60%超80%以下	☆☆☆																																	
80%超100%以下	☆☆																																	
100%超	☆																																	

2 熊本県重点評価結果

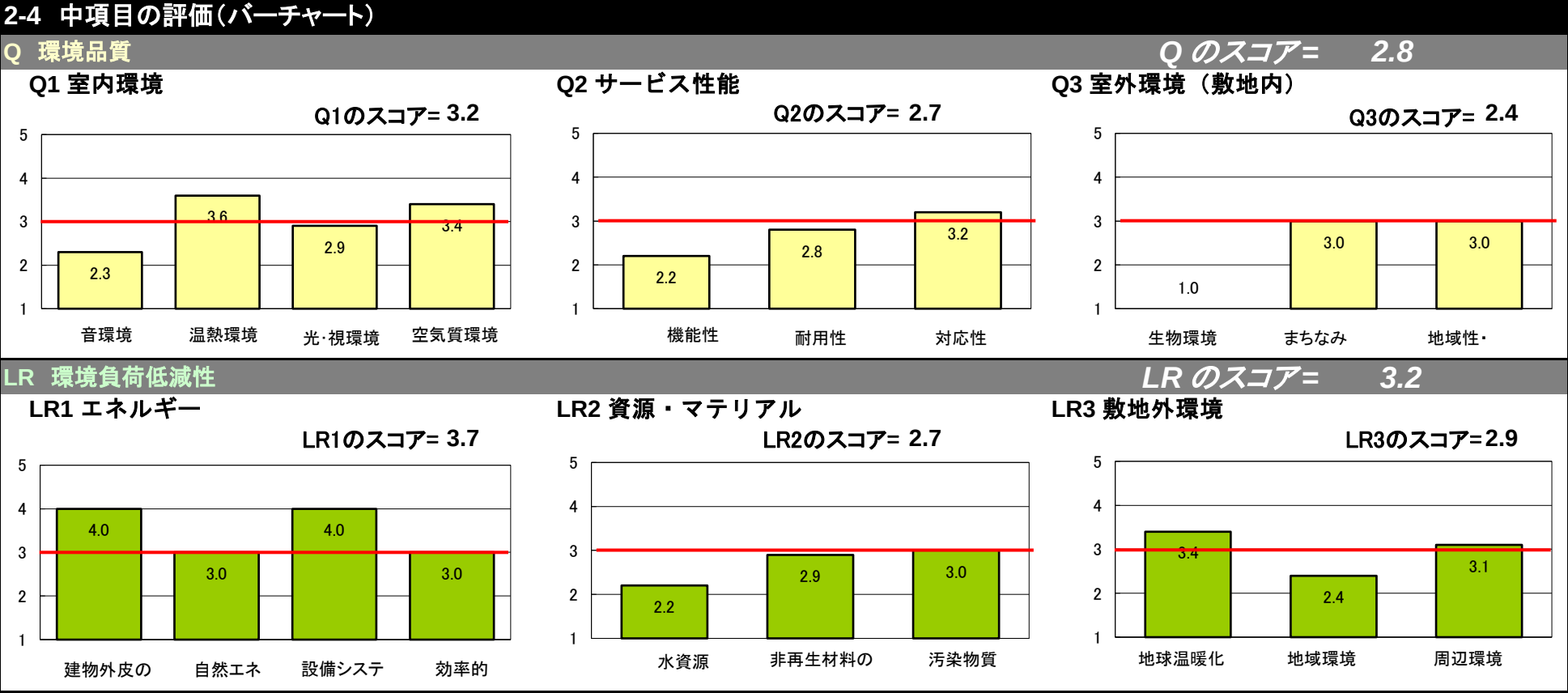
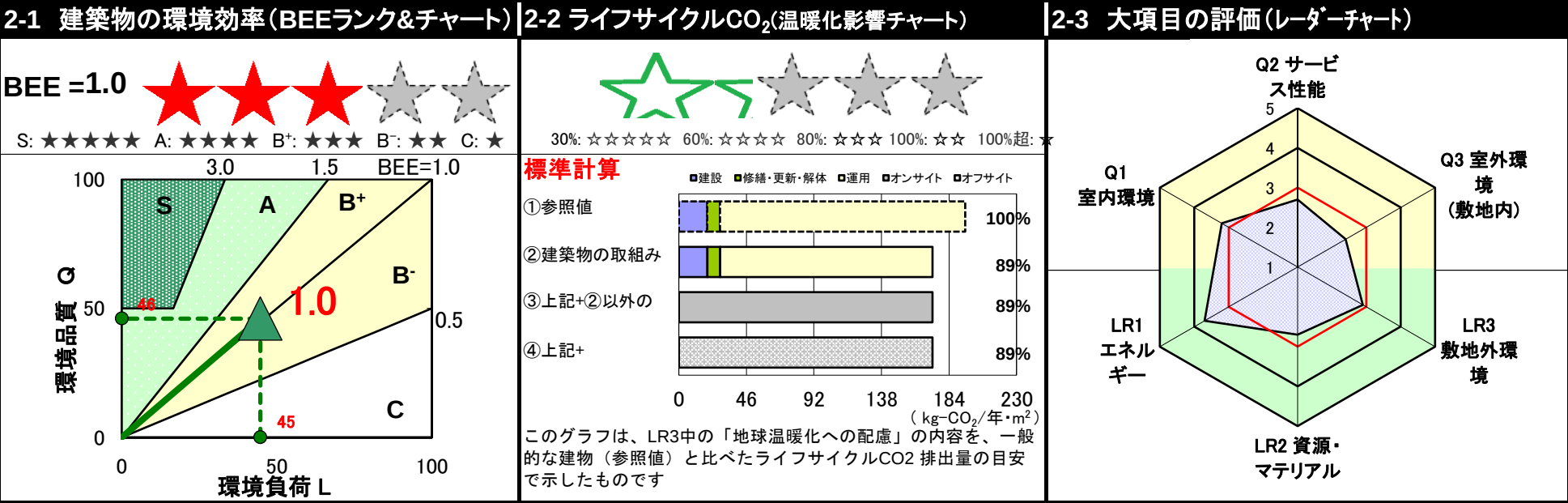
重点事項総合評価			評価点
			68
	評価点	熊本県重点評価基準	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	81.2	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	51.2	100点以上	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	60.0	80点以上100点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現	66.7	60点以上80点未満	
		40点以上60点未満	
		40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。			

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要			1-2 外観
建物名称	(仮称)健軍4丁目マンション	階数	地上7F
建設地	熊本県熊本市東区健軍4丁目1128-	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	0 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2019年6月3日
敷地面積	791 m ²	作成者	ふなもと設計 志山
建築面積	337 m ²	確認日	
延床面積	2,353 m ²	確認者	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)健康4丁目マンション

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.8
Q1 室内環境							0.40		-	3.2
1 音環境						2.0	0.15	2.5	1.00	2.3
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.50	4.0	0.50	
1.2 遮音						1.0	0.50	1.0	0.50	
1		開口部遮音性能				1.0	1.00	1.0	0.30	
2		界壁遮音性能				-	-	1.0	0.30	
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	1.0	0.20	
4		界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	1.0	0.20	
1.3 吸音						-	-	-	-	
2 温熱環境						3.0	0.35	4.0	1.00	3.6
2.1 室温制御						3.0	1.00	4.0	1.00	省エネ計算書参照
1		室温				-	-	-	-	
2		外皮性能				3.0	1.00	4.0	1.00	
3		ゾーン別制御性				-	-	-	-	
2.2 湿度制御						-	-	-	-	
2.3 空調方式						-	-	-	-	
3 光・視環境						2.0	0.25	3.3	1.00	2.9
3.1 昼光利用						1.8	0.30	4.0	0.30	
1		昼光率				1.0	0.60	5.0	0.50	
2		方位別開口				-	-	3.0	0.30	
3		昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						1.0	0.30	3.0	0.30	
1		昼光制御				1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境						3.6	0.25	3.3	1.00	3.4
4.1 発生源対策						4.0	0.60	4.0	0.63	基準法を満たしており、かつF☆☆☆☆をほぼ全面的に使用
1		化学汚染物質				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.40	2.3	0.38	
1		換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
2		自然換気性能				-	-	1.0	0.33	
3		取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1		CO ₂ の監視				-	-	-	-	
2		喫煙の制御				-	-	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	2.7
1 機能性						1.6	0.40	2.6	1.00	2.2
1.1 機能性・使いやすさ						1.0	0.40	3.0	0.60	
1		広さ・収納性				-	-	-	-	
2		高度情報通信設備対応				-	-	3.0	1.00	
3		バリアフリー計画				1.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	2.0	0.40	
1		広さ感・景観				-	-	3.0	0.50	
2		リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3		内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-	
1		維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2		維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	2種類以上B使用、E不使用
1		耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2		免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						2.9	0.30	-	-	
1		躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-	
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔				2.0	0.10	-	-	
4		空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5		空調・給排水配管の更新必要間隔				5.0	0.20	-	-	
6		主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						2.6	0.20	-	-	
1		空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2		給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-	
3		電気設備				3.0	0.20	-	-	
4		機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5		通信・情報設備				2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.4	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり			基準階階高 H=3,010	-	-	3.8	0.50	
1	階高のゆとり	-		-	5.0	0.60		
2	空間の形状・自由さ	-		-	2.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性	3.0		0.20	-	-		
2	給排水管の更新性	3.0		0.20	-	-		
3	電気配線の更新性	3.0		0.10	-	-		
4	通信配線の更新性	3.0		0.10	-	-		
5	設備機器の更新性	3.0		0.20	-	-		
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4	
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-		-	3.2	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7	
1 建物外皮の熱負荷抑制			省エネ計算書参照	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.89	4.0	0.50	-	-	4.0
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	-	-	-	
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7	
1 水資源保護				2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.9	0.60	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体と仕上げ材が容易に分別可能、内装材と設備が錯綜しない	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	1.00	-	-	
3 冷媒				-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9	
1 地球温暖化への配慮			LED照明の採用	3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	
2 污水处理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	
2 振動				-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			広告物照明なし	4.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	

CASBEE® 熊本《新築》【 配慮事項 】

4 設計上の配慮事項

総合

外観は、周囲の環境と調和するように配慮した。
また、室内を快適な環境とするために住戸の断熱性能の向上を図った。

Q1 室内環境

建築材料にはF☆☆☆☆を使用し、汚染物質が最小となるように配慮した。

Q2 サービス性能

階高にゆとりのある設計とした。

Q3 室外環境（敷地内）

外壁は景観に配慮し、落ち着いた色合いとした。

LR1 エネルギー

住戸内の断熱性能向上を図った。

LR2 資源・マテリアル

躯体・仕上げ材が容易に分別できるように配慮した。

LR3 敷地外環境

敷地内に駐車場・駐輪場を設け、周辺の交通へ配慮した。

その他

熊本市重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)健軍4丁目マンション

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本市重点評価結果				総合評価点		68
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				81.2	0.40	32.48
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	1.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	4.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				51.2	0.20	10.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	1.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				60	0.20	12.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	1.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				66.7	0.20	13.34
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	2.9	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数